

伊勢みずほの
うだったの
JA!
vol.9

JAバンク新潟県信連

子どもたちに農業について知ってほしい——。そんな願いから、JAバンク新潟県信連では、新潟県JAバンク食農教育応援事業を通して食農教育の普及に取り組んでいます。

食農教育で
地域農業をより身近に

食農教育とは、子どもたちが普段口にする農畜産物が、どこでどのように誰により作られているかなどを学ぶものです。新潟県JAバンク食農教育応援事業は、そのような食農教育への支援を通じて、農業への理解、ファン層の拡大、地域貢献を目的に行われています。



桑原理事長(右)は「新潟が食の宝庫であることや作り手の思いなどを知ってほしいです」と事業に期待を寄せていました。

県内各JAが企画した食農教育活動に対し、一般社団法人JAバンクアグリ・エコサポート基金と新潟県信連が費用の助成をしています。



自分たちの身長ほどあるとうもろこし畑で収穫。おいしいゆで方や保存方法なども教わりました。

県内では今年度、18JAで59件の活動が企画され、JA新潟みらいの「あぐりスクール」では、管内の小学校高学年を対象に農業体験などを行っています。

新潟県信連の桑原理事長も実際に参加し、「おもしろい」と感じています。その他にJAバンクでは、JA直売所などで使えるクーポン券付き「いがた農業応援定期貯金」や、使い勝手が良い低利な農業融資商品を提供するなど、さまざまな形で農業を支援しています。

桑原理事長は「新潟の農業を盛り上げ成長産業に結び付けて、『やっぱり最後に頼りになるのはJA』という評価を定着させたいです」と話していました。

みずほの「1」
実際に農家さんの話を聞いたり現場を見ると、感謝の気持ちが増え、作物に対する気持ちがかわります。この事業を通じて農業を志す子が増えるのではないかと思います。



JAグループからのおすすめわけ
本特集へのご意見・ご感想を募集しています。投稿いただいた中から毎月抽選で旬のJA特産品をお送りします。ハガキもしくはHPの特設ページから応募ください。

JAグループ新潟

JAグループ新潟 検索

〒951-8116 新潟市中央区東中通一番町189番地3
JA新潟中央会 総務企画部「そうだったのJA!」係 TEL 025-230-2010